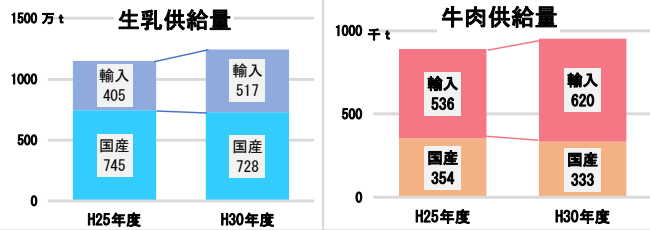


【状況変化】

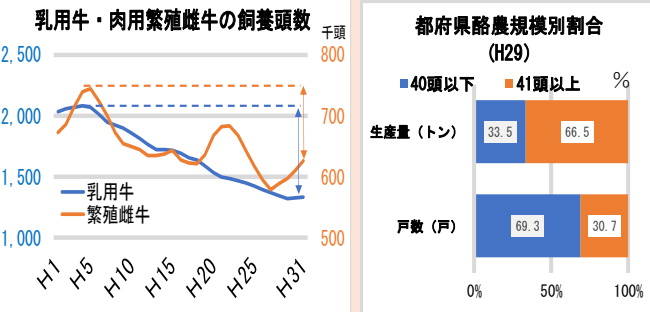
畜産物需要と輸入の増加

- 畜産物の需要は堅調に推移。生産は回復しつつあるものの、生乳、牛肉ともに需要の伸びに国内生産だけでは対応できないため、輸入が増加



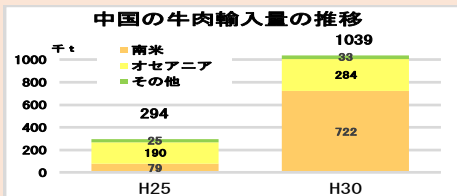
安定供給に向けた生産基盤回復のスタート地点

- 規模拡大等により生産基盤の縮小に歯止めがかりつつあるが、需要増に対応できる状況にはない
- 酪農では都府県の生産基盤は縮小が継続し、北海道からの生乳移送も限界
- 大規模経営だけでなく、中小規模の家族経営の生産基盤の充実による増産が必要



国際環境の変化

- ASFの影響による中国における豪州産牛肉を中心とした輸入量の急増等により、安定的に輸入出来なくなる恐れ
- 日米貿易協定による米国向け牛肉の低関税枠の拡大や中国への畜産物の輸出解禁に向けた動きは、輸出拡大に向けた絶好の好機



持続可能な発展

- 畜産環境問題への対応
- 国内外での家畜疾病の発生や相次ぐ自然災害
- 世界人口の増加に伴う穀物需給の逼迫



【構成】

海外市場を含め拡大が見込まれる需要に応えるための生産基盤の強化
次世代に継承できる持続的な生産基盤の創造

I 生産基盤強化策

地域内での連携により取組を推進

1 酪農の方向性

牛乳・乳製品の安定供給、乳製品需要に国産生乳で対応するため、「都府県酪農の生産基盤の回復」、「北海道酪農の持続的成長」、「全国の酪農経営の持続的な経営展開」を目指し、都府県の既存牛舎の空きスペースを活用した増頭、外部支援組織の育成、性判別技術の活用、経営資源の継承等を推進

2 肉用牛の方向性

新たな国際環境下における牛肉の安定供給、新たな市場獲得のため、「和牛の繁殖雌牛の増頭」、「和牛肉生産量の増大」、「輸出の大幅な拡大」を目指し、中小規模の家族経営や公共牧場・外部支援組織等の活用も含めた増頭、酪農経営による和牛受精卵の利用、経営資源の継承等を推進

3 生産基盤強化の具体策

(1)肉用牛・酪農経営の増頭・増産

・繁殖雌牛・乳用後継牛の増頭推進、和牛受精卵の増産・利用推進、公共牧場等のフル活用による増頭・増産 等

(2)中小規模の家族経営を含む収益性の高い経営の育成と経営資源の継承

・新技術の実装等による生産性向上、投資の後押し等による規模拡大推進、畜舎の建築基準等見直し、経営能力向上
・後継者不在の経営の経営資源を地域で円滑に継承するためのシステム構築 等

(3)経営を支える労働力や次世代の人材の確保

・外部支援組織の新技術の実装、酪農ヘルパーの要員確保等の外部支援組織の育成・強化
・農業高校等の人材確保に資する雇用就農やICTの活用等経営環境の変化に対応できる多様な人材の登用を推進等

(4)家畜排せつ物の適正管理と利用の推進

・堆肥のペレット化等による耕種農家のニーズに合った高品質な堆肥の広域流通、堆肥舎の長寿命化の推進 等

(5)国産飼料基盤の強化

・適正な草地更新や適期収穫、優良品種の普及、草地整備等による低コストで安定的な自給飼料生産の一層の推進
・条件不利な水田等での放牧、気象リスクへの対応 等

(6)経営安定対策の適切な運用

II 需要に応じた生産・供給の実現、流通の合理化

1 生乳

・需要の高い直接消費用チーズ等の乳製品製造に向けた高品質生乳の生産と商品開発等の事業投資の推進、各種制度の適切な運用による生乳需給の安定
・新制度を活用した酪農経営等による付加価値を高めた乳製品の開発・製造販売の推進、あまねく集乳する指定事業者が果たすべき生乳流通・販売に係る機能の確保、新たな制度下での適切な生乳流通体制の構築 等

2 牛肉

・早期出荷等による適度な脂肪交雑の牛肉等消費者ニーズにマッチした多様な牛肉生産、消費者の選択に資する食味等の指標化、食肉処理施設や家畜市場の再編整備による生産現場と結びついた流通改革の推進 等

3 輸出の戦略的拡大

・輸出先国の求める衛生基準に適合した食肉処理施設・乳業施設の整備、施設認定の迅速化 等
・ブランド価値を守るための和牛遺伝資源の流通管理の徹底、知的財産的価値の保護の強化 等

III 持続的な発展のための対応

1 災害に強い畜産経営の確立

・各経営や地域での災害の備え
・飼料穀物の備蓄、非常用電源設備の導入促進等による甚大な被害からの早期の経営再開 等

2 家畜衛生対策の充実・強化

・「持ち出させない」「持ち込ませない」ための水際検疫、「農場に入れない」国内防疫の徹底 等

3 持続的な経営の実現と畜産への信頼・理解の醸成

・GAP、資源循環型畜産等の推進
・HACCP等製造・加工段階での衛生管理や飼料・動物用医薬品等の安全確保等を通じた消費者の信頼確保
・畜産への国民理解の醸成、食育等の推進 等

生産基盤強化により
目指す姿

国内の高い畜産物需要に応じた
国産畜産物の供給を実現する。

戦略的な輸出により
積極的に
海外市場を
獲得する。

産業として
持続的な
発展を図る。